

Joint Workshop on Automobile Engineering and CAE 報告



目で見る
海外講師講演会

梶 島 岳 夫*

School of Automobile & Traffic Engineering,
Jiangsu University, and Department of Mechanical Engineering, Osaka University

Key Words : Automobile engineering, CAE, Combustion, Multiphase flow

江蘇大学 (中国鎮江市) 汽車與交通工程学院 (および発動機 CAE 研究所) から 3 名の研究者が大阪大学に来訪した機会に、標記の講演会を開催しました。2016 年 5 月 17 日の午後、機械工学専攻のセミナー室において、前半は江蘇大学から

尹必峰 (YIN Bifeng) 教授: Application of high efficiency energy-saving technology in internal combustion engines

蔡忆昔 (CAI Yixi) 教授: Study on decomposition of PM emissions from diesel engines and regenerating DPF using non-thermal plasma technology

董非 (DONG Fei) 准教授: Numerical simulation of fluid flow and heat transfer in internal combustion engines

の 3 件の講演、後半は大阪大学から機械工学専攻の若手に協力いただいて

山崎慎太郎准教授: Structural optimization using CAE for electromagnetic devices

林潤准教授: Measurement of two dimensional distribution of soot volume fraction in multiphase combustion

の 2 件の講演があり、教員・大学院生あわせて約 30 名の聴講者とともに活発な質疑応答が交わされました。特に中国側からは、基礎研究としての計測技術、(外国製市販ソフトウェアに依存しない) CAE システムの開発について高い関心が示されました。

今回の来訪の目的は、昨年 5 月に江蘇大学で筆者が計算流体力学に関する講義を行った際に企画されたものです。相互訪問および講演会の実現については、江蘇大学に縁があり、大阪大学で大学院を修了

している范秦寅博士 (大阪大学外国人招聘研究員) より多大なる協力をいただいています。また、江蘇大学の研究者は滞在中に、田中敏宏工学研究科長への表敬訪問、機械工学専攻の関連研究室ならびにレーザーエネルギー学研究センターの見学など 3 日間の短期間に濃密なスケジュールをこなして帰国されました。ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げますとともに、本講演会が両校の学术交流の発展のきっかけになることを願っております。末筆ながら、海外講師講演会奨励事業として支援いただいた生産技術振興協会にあつくお礼申し上げます。



講演会の様子



工学研究科長室にて (左から、范博士、蔡教授、田中研究科長、尹教授、董准教授、梶島)

*講演会主催者 大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授